

平成23年度事業計画

1. 情報収集及び提供事業

事業名	事業内容
KITEC INFORMATIONの発行	当財団の機関誌「KITEC INFORMATION」を年4回発行し、内容の充実に努める。また、電子化の検討をする。
ホームページによる情報等の提供	新しいHPによる双方向の情報受発信機能を中心に、情報のオペレーションを行う。

2. 産業技術振興事業

(1) 九州成長戦略支援事業

【提案公募：JKAの補助事業】

<p>成長戦略調査研究活動</p> <p>●事業推進委員会</p> <p>●マイルストーン分科会</p>	<p>[事業の概要]</p> <p>本事業で実施する業界動向調査の結果等を踏まえ、産学官から構成する事業推進委員会(年2回開催)において、事業化の見込みが高い戦略分野、育成候補企業を選定するとともに、事業全体の統括管理及び実施結果の自己評価を行う。</p> <p>また、事業推進委員会に設置するマイルストーン分科会において事業のアクションプログラム(①事業創出調査研究②、コーディネーター交流会③ミニセミナー)の実施状況を定期的に評価・管理する。</p> <p>また次のステップとして、戦略的基盤技術高度化支援事業をはじめとする提案公募型研究開発事業への提案・採択等を通じ、産学共同研究開発事業の実用化・事業化を目指す。</p> <p>●事業推進委員会の役割 戦略分野の審議、育成候補企業の選定、公募した研究開発テーマの審査</p> <p>●マイルストーン分科会の役割 事業の進捗管理、評価・分析、次ステップの確認</p>
<p>①事業創出調査研究イ) コーディネート活動</p>	<p>「成長戦略調査研究」で選定した戦略分野、育成候補企業に対して、分野別コーディネーター(6名程度)が企業と大学等研究機関の技術ニーズ・シーズのコーディネート活動を行う。</p> <p>また、統括コーディネーターを座長として、コーディネーター連絡会を開催し(年4回程度)、コーディネート活動の活性化及び進捗状況の管理を行う。</p>

<p>ロ) 公募活動 【150万円以内】 6件程度</p>	<p>技術シーズ・ニーズが一致したコーディネート案件(20件程度)と、公募により事業推進委員会で採択された案件(6件程度)については、課題の抽出、解決及び事業化に向けた産学連携の取り組みを具体化するため、分野別コーディネーター、事業プロデューサー、大学等研究機関及び企業の関係者等で構成する事業化調査研究会を開催(1テーマ当たり4回程度)する。</p> <p>(注) [統括コーディネーター] コーディネート活動及び連絡会の統括管理 * 事業全体の把握及び九州成長戦略アクションプログラムとの連携や新しい国プロ等に対応</p> <p>[分野別コーディネーター] コーディネート活動、連絡会等の出席 * 産学官の連携に経験があり、人的ネットワークを持ち九州成長戦略の各分野の専門知識を有する人材 九州域内の地域分担も意識して委嘱</p> <p>[事業プロデューサー] 研究会の出席、案件の進捗管理 * 中小企業診断士等をはじめとする、コンサルテーション能力を有し、事業創出への必要な支援を可能とする人材</p> <p>本事業で実施する業界動向調査の結果等を踏まえ、事業化の見込みが高い戦略分野について公募し、産学官から構成する事業推進委員会において、研究テーマを選定する。研究開発を委託するとともにブラッシュアップ等の諸課題の検討を行う。</p> <p>公募により採択された案件(6件程度)については、事業化調査研究会と一体となった委託調査を行う。</p> <p>[主な活動]</p> <p>応募のあった研究開発テーマについては、第三者機関(事業推進委員会)において評価・選定のうえ、研究委託する。</p> <p>委託した事業に関しては、担当責任者を配置し、実用化・事業化へ向けた諸課題の検討等、委託調査を行う。</p>
<p>②コーディネーター 交流会の開催</p>	<p>事業プロデューサー等の育成及び技術支援、事業化支援の人材面での充実を図るために開催する。</p>
<p>③ミニセミナーの開催</p>	<p>九州地域における中堅・中小企業の埋もれた技術開発に向けた取り組みを発掘するとともに、産学官連携による事業化成功事例等の紹介により本事業の普及を図るためミニセミナーを開催する。</p>

(2) 地域新成長産業創出促進事業

【提案公募：国の補助事業】

<p>地域新成長産業創出促進事業 (地域イノベーション創出促進関係)</p>	<p>[事業の概要] 九州地域における大学・高専、公的試験研究機関、産業支援機関及び経済団体等の61機関が結集して平成20年9月に設立された広域的な連携組織「九州イノベーション創出促進協議会(KICC)」のネットワークを活用し、次世代自動車等の新成長産業分野における技術シーズ・ニーズのマッチングを図り、産学官の研究開発促進に向けた取り組みを進める。 また、これらのうち特に有望な共同研究開発については、関係機関が連携して、国家レベルの骨太なプロジェクトに育成するとともに、産業化に向けた支援を行う。</p> <p>[主な活動]</p> <p>ア) 次世代自動車等の新成長産業分野における共同研究開発の促進に向けたマッチング・技術交流会等の活動(「シーズ育成型事業」)及び有望プロジェクトの事業化に向けたオーダーメイドの支援活動(「産業化加速型事業」)の実施 イ) 企業の技術的課題に対する広域的なワンストップサービスの推進 ウ) 試験研究機器等の広域的活用を促す「開放試験研究機器データベース」の維持・管理</p>
--	--

(3) 戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン)等【提案公募：国等の受託事業】

<p>戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン)、地域イノベーション創出研究開発事業等</p>	<p>[事業の概要] 地域において新産業・新事業を創出し、地域経済の活性化を図るため、産学官の研究開発リソースの最適組み合わせからなる研究体を組織し実用化技術の研究開発を通じて、事業化に繋げる活動を推進する。</p> <p>[主な活動]</p> <p>応募に相応しい研究開発事業については、国の提案公募型の委託事業である「戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン)」等への提案に向けて、産学共同研究開発のフォーメーションづくりを行うとともに、事業管理者として事業を取りまとめ、応募する。</p> <p>採択された事業については、各コンソーシアムを構成する機関と密接な連携のもとで、プロジェクトの目的達成に向けた取り組みを着実に実施していく。</p> <p>また、22年度から継続の「地域イノベーション創出研究開発事業」に関しては、プロジェクトの円滑な運営管理等に努める。</p>
--	--

3. 普及啓発事業

(1) 地域技術交流事業

大学等地域共同研究センター長との意見交換会	九州地域における産学共同研究開発の推進等を目的として、九州・沖縄地域における国立大学等の地域共同研究センター長等との意見交換会を開催する。 意見交換会を通じて、当財団と地域共同研究センター等とのネットワークを形成し、協力体制を整えるとともに、産学官連携に関する現状・課題、並びに大学のシーズと企業の技術ニーズとのマッチング等の円滑な運営に関する意見交換を行う。
-----------------------	---

(2) 国際技術交流事業

環黄海経済・技術交流会議等	東アジア、特に九州地域と経済圏形成のポテンシャルが高い環黄海地域(中国・韓国)との産業技術の交流を推進していく観点から、引き続き、環黄海経済・技術交流会議や九州・中国産業技術協議会、九州・韓国経済交流会議等に参画していく。
九州・国際テクノフェア	本フェアの円滑な実施に向けて、共催者として参画していく。

4. 振興支援事業

(1) 支援事業

技術相談	当財団が事務局を担う地域新成長産業創出促進事業とも連携し、より効果的、効率的な技術相談を推進する。
他機関との連携等支援事業	産業技術振興に繋がる研究成果発表会等のうち、当財団と関係機関との連携事業等に対して、支援する。

(2) 受託等事業

【提案公募:国の補助事業】

地域新成長産業創出促進事業 (環境・リサイクル関係)	九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ(K-RIP)の事務局として、コーディネーターを配置し、以下のことに取り組む。 イ) ネットワーク強化事業(情報の発信及び収集、広域産学官マッチング、販路開拓支援事業、専門家派遣事業、各種研究会など) ロ) アジア展開支援事業(中国・韓国とのビジネスマッチング、ビジネスミッション派遣、海外展開専門家派遣、ソリューション型海外現地調査及び実証支援、海外クラスターモデル構築調査、各種セミナー、交流会など)
-------------------------------	---

5. 人材育成事業

人材育成助成基金事業	九州地域における産業技術の振興を図るため、大学等の若手研究者の留学や国際学会等での発表に対し、滞在費、海外渡航費等を助成する。
------------	---

6. 試験分析事業

試験分析事業	試験分析機器の改善を図り、積極的な受注を行い、収支の改善に努める。 [主な活動] 官公庁、企業等からの受注を受け、環境水・工場排水等の水質分析、事業所内の環境測定、コンクリート骨材のアルカリ性反応試験等、トータルの測定・試験・調査事業を実施することにより、九州地域の環境保全等に寄与していく。
--------	--